

Paul Graham 对我的影响

Paul Grahamは、この1年間で私に最も影響を与えた人物です。彼の思想から多くのことを学びました。その中で、彼は、野心があると感じる人に誰にでも勧める一つのエッセイ——《You and Your Research》について語りました。これは、大きな貢献をしたコンピュータ科学者 Richard Hamming によって書かれたものです。彼は、人々が自問すべき三つの質問があると考えています：

- あなたの研究分野で最も重要な問題は何ですか？
- あなたはそのうちの1つを研究していますか？
- なぜ研究していないのですか？

当時、Hamming はベル研究所でこの3つの質問をしました。彼は講演を行い、先ほど触れた記事はその講演の原稿です。理論的には、ベル研究所の人々は皆優秀で、重要な問題を研究しているはずですが、実際はそうではありませんでした。Hamming と彼らを比べると、彼らの大部分は圧倒的に劣っていました。

ハミングは、優れた科学者になるためには以下の点が必要だと考えています：1) 研究分野に感情的に深く没頭すること；2) 自分が十分に努力していない、または十分に没頭していない場合、実験条件が悪いなどの理由を使って、なぜ一流の仕事が成し遂げられなかったかを説明しないこと。3) 自分自身に3つの質問を投げかけること。

Paul Graham も多くの記事で述べていますが、集中するためには他の些細な用事を捨て去る必要があります。本当に重要なことを一つか二つ選び、それに全ての時間を投入し、他の本来重要だったことを放置して腐らせるのです。例えば、私のノートパソコンのバッグの内側が破れてしまいました。このバッグはもともと小さく、これを機にオンラインで新しいバッグを買いたいと思いましたが、まだ使えるので、考えた末にそのままにしました。そして、プログラミングに集中してコードを書き続け、普段はそのバッグでノートパソコンを持ち運びました。結果、一学期が過ぎ、バッグの内側はかなり破れましたが、まだ完全に使えます。むしろ、このバッグが気に入って、十分だと思えるようになりました。オンラインでバッグを買って配達を待つ時間を節約できたのです。もう一つの例を挙げると、北京で一学期勉強した後、私は南方で以前はあまりにも頻りにシャワーを浴びていたことに気づきました。今回帰ってきて、姉は私が何日もシャワーを浴びないことを嫌がりました。しかし、私にとっては、南方の冬に毎日シャワーを浴びることはどれだけ時間の無駄かと思いました。その時間を節約して、もっと意味のあることに使うことができます。このように、多くの些細で重要でないことは、今すぐにやらなくても、最終的には消えてしまい、やる必要がなくなるかもしれません。そして、その時間を使ってより大きな価値を創造することができます。シャワーを浴びることは、価値を創造しません。私が言う価値とは、人々が欲しがる製品を作り、この社会に富を創造することです。

Paul Graham はスタートアップインキュベーターを運営しており、起業に関する多くの記事を書いています。彼の記事では、富を最も早く創造する方法は起業することだと述べられています。テクノロジーは生産性を大幅に向上させることができます。そして、小規模なチームでは各人の貢献をより簡単に測定できます。大企業では各人の貢献を測定するのがより難しくなります。そのため、IT 起業は人々がより早く富を築くことを可能にします。一つには、IT ハイテクは生産性が高く、市場も良いからです。二つ目に、スタートアップの小規模なチームでは、自分が必死に働き、起業が成功すれば自分が大金を手にすることが確実だからです。問題は、起業の失敗率が非常に高く、リスクが大きいことです。それでも、なぜ私たちはそのリスクを冒すのでしょうか?!

生きるためには、仕事をしてお金を稼ぐ必要があります。ここには一つの保存則があります。100 万を稼ぐには 100 万の苦痛を、1000 万を稼ぐには 1000 万の苦痛を耐えなければなりません。一生に必要な金額を稼ぐために、この苦痛を分担する方法は二つあります。一つは、ストレスの少ない職場環境で 40 年間ゆっくと働くこと。もう一つは、ストレスの大きい職場環境で 5 年間速く働くことです。こう考えると、私たちはやはりこのリスクを冒すことに前向きです。結局のところ、私たちの人生は貴重です。ただ食べるために一生を費やしたくはありません。大人たちを見てください、彼らは一生働き、お金のために一生忙しくしています。私は、30 歳までにお金の問題を解決したいと考えています。残りの人生を人生を味わうために使いたいです。例えば、アメリカに行って NBA の試合を見たり、レースをしたりすることです。)

起業は、たくさんのお金を稼ぐためでも、億万長者になるためでもありません。私は高価なものをかうためでもなく、飲み食いや娯楽に溺れるためでもありません。しかし、お金の心配をしなくてもいい人になりたいと思っています。安心感や自由感を得て、自分が好きなことをできるようになりたいのです。Carmack が言ったように、あなたがとても裕福なとき、どんな会社や人もあなたを支配することはできず、あなたは大きな自由感を得るでしょう。

また、普段の生活圏の人々が自分に与える影響は非常に大きいです。同じ志を持つ友人を見つけることが大切です。週末、ベッドから起きて、眠い目をこすりながら見ると、ルームメイトたちがまだ寝ている。そうだ、私ももう少し寝よう。高校時代、情報学のリーグに参加していた頃、陳立杰や楼天成のような優秀な人々を常に意識していたので、自分が本当に弱いと感じ、彼らから学び、アルゴリズムを学び続け、頭が混乱するようなコードを書くことに必死になっていました。一方で、日常的に SNS をやっている、生活の中で何か投稿して人気を集めようと、身の回りの食べ物や遊びにばかり注目してしまいます。友達の SNS 投稿は、面白い言葉や最近の食べ物や遊びについてのつぶやきばかりだからです。

Paul Graham は、起業家の世界では外の世界に比べて話すことが少なく、行動することが多いと言っています。故郷に帰ると、そのことをより強く感じます。人々は近所の人とおしゃべりしたり、時にはトランプや麻雀をしたりしています。まるで一日中話しすぎて、行動が少なすぎるように感じます。農村では、どれだけの価値を創造できるでしょうか、世界の他の部分にどれだ

けの影響を与えることができるでしょうか。もし村の農地がすべて機械で耕作されれば、機械は多くの人力に匹敵します。しかし現在、農村の人々は機械で簡単にできることに時間と労力を費やしており、それはまさに命の浪費です。仕方ありません、人が多いことが機械の発展を阻んでいるのです。

野心は実はもっと大きくてもいい。以前、私も自分で会社を立ち上げるなんて考えたことがなかった。それはあまりにも面倒で難しいことで、脳が自動的にそのことをフィルタリングしていた。Paul Grahamの記事を読んで、起業は生きていくために仕方なくやらなければならないことだと感じた。自分を養うために富を創造しなければならない、そして最も速く富を創造する方法は、仕事のペースを速めて起業することだ。この考えを持ってから、私はさらにその方向に考えを進める勇気が出てきた。自分で起業することも不可能ではないと思えるようになった。他の人ができるなら、なぜ私にできないことがあるだろうか。前回、Garage Coffeeに行った時、United Collegeの二年生と知り合い、彼は大学入試の志願に関するウェブサイトを作り、9月に会社を登録して運営しようとしていた。彼は本当にすごい。彼のSNSを見て、徹夜でモバイルアプリを作ったという話を読んだ。私は思った、ああ、本当に彼には及ばない、彼はそんなに情熱的で集中力があり、それに比べて私は生産性が低い。本当にそんなにダメなのか?! それは言い訳だ! 自分が確かに他人より劣り、確かにそれほどすごくないと認めれば、努力しなくてもいいという口実ができる。